

指定管理施設事業評価票(令和6年度分)

1. 施設所管課 観光経済 部 栗山観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市平家の里							
	所在地	日光市湯西川1042番地外							
指定管理者	名称	平家の里湯西川協同組合							
	代表者名	代表理事 山城晃一							
	住所	日光市湯西川1042番地							
指定期間		令和3年4月1日			～	令和8年3月31日		5	年間
選定方法		非公募				評価実施年		5	年間のうち 4 年目
施設設置目的		地域における農林業の振興と、地域の活性化を図り、魅力ある観光資源の開発に資する。							
主な実施事業		資料館、展示館							

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	入場者数	人	56,000	20,365	56,250	47,793	56,550	43,149	56,750	50,074		
b												
c												
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計 A		14,502,177	26,664,160	27,033,130	30,126,572	0
	指定管理料	0	174,203	45,062	0	
	利用料収入 C	9,438,963	20,702,410	20,783,860	24,347,450	
	自主事業収入	0	0		0	
	その他	5,063,214	5,787,547	6,204,208	5,779,122	
支出計 B		19,319,392	24,423,040	25,698,880	28,751,664	0
	指定事業費	19,319,392	24,423,040	25,698,880	28,751,664	
	内人件費 D	10,625,485	11,847,605	12,781,143	13,323,062	
	内外部委託費 E	35,640	35,640	35,640	35,640	
	自主事業費	0				
事業収支 A-B		-4,817,215	2,241,120	1,334,250	1,374,908	0
人件費率 D/B		55.00%	48.51%	49.73%	46.34%	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		0.18%	0.15%	0.14%	0.12%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
② サービスの 質の 評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	C	C
③ 安定性	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	年間を通じ施設内の安全・安心の徹底を第一に取り込むことができた。また、節水、節電による経費削減に努めることができた。			
	インバウンドや、誘客イベントの実施等により、入場者数が約7,000人増加した。			
	(所管課評価)			
	入場者数の大幅な増加について、インバウンドや、特に2月のイベント開催が奏功したと思われ、管理運営について一定の評価ができる。			
	茅葺屋根の老朽化が著しいが、雪下ろしや枝下ろし等を行い維持管理に努めていた。			
	周辺のホテル・旅館との連携強化を図り、更なる利用者増加を目指し適切な施設の管理・運営に努めてほしい。			
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。